

令和5年度第4回安城市総合計画審議会 議事（要旨）

日 時	令和6年1月19日（金）午後2時00分～3時00分	
場 所	市役所本庁舎 第10会議室	
出席者	委員	寺田 覚会長、太田 良子副会長 鈴木 健司委員、安田 孝美委員、久恒 美香委員、渥美 純一委員、 河田 光司委員、酒井 麻利子委員、都築 豊彦委員、戸田 こず恵委員、 鳥居 卓司委員、宮下 晴美委員 (WEB出席) 筒井 広治委員
	事務局	市長、副市長、教育長、企画部長、行革・政策監、総務部長、関係部次長、 健幸=SDGs課長、健幸=SDGs課長補佐、健幸=SDGs課職員
次 第	1 市民憲章昭和 2 市長あいさつ 3 議題 (1) 第9次安城市総合計画（案）について パブリックコメントの実施結果について 4 答申 5 その他 (1) 第9次安城市総合計画策定の今後のスケジュールについて (2) SDGs未来都市計画の進捗評価について	

1 市民憲章昭和

2 市長あいさつ

皆さんこんにちは。本日は皆さん大変お忙しい中、安城市総合計画審議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

あいさつの冒頭に、元日に発生いたしました能登半島地震におきまして、尊い命を落とされ、亡くなられました皆様方にお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様方には心よりお見舞い申し上げ、あわせて被災地の一刻も早い復旧復興を願っております。この能登半島地震発生直後に、我々も職員を派遣するなど支援活動を進めております。具体的には、衣浦東部広域連合から消防隊員が元日その日のうちに出発をしております。また、3日早朝には安城市の給水車が現地へ向けて出発したほか、安城市と災害相互応援協定を結んでいる石川県加賀市からの要請によりまして、ブルーシートを納入したほか、建物被害の認定調査のための職員を派遣しております。

今回、能登半島におきまして非常に大きな災害が発生しましたが、地震災害は決して他人事ではございません。当市におきましても、南海トラフ巨大地震が向こう30年間のうちに発生する確率は、7割とも8割とも言われております。その際には、本当に広い範囲で大変多くの深刻な被害が発生することが想定されております。そうなった場合、全国からももちろん災害支援のために仲間が駆けつけてくれることにはなりますが、やはり被害の大きいであろう海岸部等に集中して支援が行くはずでございます。従いまして内陸である安城市につきましても、その支援の手が届くまでは、おそらく1週間、2週間という時間

がかかると思います。その間、私たち自分たちで何とかやりくりしていかなければならないという状況になりますので、どうか皆様方におかれましては、災害への備えについて、ご自身でできる限りのことをしていただくようお願いしたいと思います。

さて、本日の審議会では、昨年を実施いたしました第9次安城市総合計画案のパブリックコメントに対する市の考え方につきまして、説明をさせていただいた上で、ご審議いただきまして、最終案について答申をいただければと思っております。この度のパブリックコメントにおきましては、実に45人の方から400件という大変多くのご意見を頂戴いたしました。前回8年前の第8次総合計画策定の際には、パブリックコメントでご意見をお寄せいただいた方は6人、件数にして52件でございましたので、それと比較しましても今回非常に件数が多いことがお分かりいただけるかと思えます。これは、それだけ安城市の将来に対する市民の方々の関心が高まっている証拠だと私は考えております。市民の皆様的那种ご期待に応えられますように、この新しい総合計画の中で描いた目指す都市像の実現に向けて、まい進してまいりたいと存じます。

本日も皆様方の様々な専門的なお立場からご意見を賜りまして、この第9次総合計画の最終案の締めくくりをお願いしたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

3 議題

第9次安城市総合計画（案）について パブリックコメントの実施結果について

【寺田覚会長】

皆さんこんにちは。会長を務めさせていただきます寺田です。本日の議題は一つです。議題（1）第9次安城市総合計画（案）について審議いたします。円滑な議事運営ができますよう、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。それでは、議題（1）第9次安城市総合計画（案）について事務局より説明をお願いいたします。

（事務局説明）

【寺田覚会長】

ありがとうございました。本日机上にあります第9次安城市総合計画（案）につきましては、ただいま事務局から説明があったように、パブリックコメントの意見を踏まえて修正を加えたものになっています。これまでいろいろと本審議会においてご検討いただきましたが、400件のパブリックコメントを踏まえて、答申する前にご意見等ございましたらよろしく願いいたします。

【筒井広治委員】

今回これだけの意見が出てきたということに対して、多いなという感想を持ちました。計画案では、数値の目標を掲げているものが多く、そこからいろいろと疑問を感じた市民もいるのかなと思っています。目標を掲げ、なおかつ無理やり高い目標にしないという市の方針については、やはり現状を見た上での目標値ですので、これはこれで非常にいいことだと思っています。以上です。

【寺田覚会長】

ありがとうございました。

他にご意見がなければ、この案を最終案として市に答申することにご異議ございませんか。

(異議なし)

【寺田覚会長】

異議なしのご発言がございましたので、この計画案を了承するものとして、市長に答申いたします。

それでは最後に、学識経験者の委員の皆様から全体を通した講評を頂きたいと思います。

【鈴木健司委員】

日本福祉大学の鈴木です。よろしくお願ひいたします。私の専門は財政学、地方財政論ということで、他の自治体の総合計画を逐一見ているのですが、今回の第9次安城市総合計画は、非常にモダンな作りだと思います。まず、分野別計画がダラダラと書いてあるのが従来の総合計画で多いパターンですが、こちらは重点戦略で分野別計画を包含した新たな数値目標を設定しており、非常に市民にも分かりやすいと思います。市民が分かりやすいというのは、冒頭で市長もおっしゃられたようにパブリックコメントが非常に多かったということです。これは私もびっくりしました。資料が送られてきて、こんなに多いんだ、というのが率直な意見です。裏を返せば、それほど市民の方が分かりやすかったということと、市民の方が非常に安城市に対して関心を持っているということの表れだと感じております。審議会自体も、会長は市民からではなく、学識経験者や市の方が担うことが多い中で、安城市では寺田会長のよう市民から会長が出ている。この点から見ても今回の計画は市民の声をかなり重視し、なおかつ、それを具体的に計画の目標数値に落とし込んだということで、極めて素晴らしいものだと思います。私も他の自治体で宣伝させて頂きたいと思います。これを今後進めていく時になかなかうまくいかないこともあろうかと思いますが、数値目標を作ったことで、どこが悪かったのか、どう改善していけばいいのか、というところに注力してもらえれば更に素晴らしい計画と計画実施になると思いますので、市の職員の方、あるいは議員の方、市民も含めてオール安城で臨んでいただければと思います。以上です。

【寺田覚会長】

ありがとうございました。では、安田委員お願いします。

【安田孝美委員】

安田でございます。今鈴木委員からお話がありました通り、本当に私も驚きました。前回は6人で52件、それが今回45人で400件ということで、我々関わらせて頂いて、市民の皆さんに思いが届いたのかなという意味で喜んでいるところです。また、鈴木委員がおっしゃったように、分かりやすい総合計画になっているなと思います。これまでこの審議会でも色々議論し、我々から様々な意見や要望、質問を出させていただきました。それに対して、市の方々に真摯に対応していただき、その成果がこの形になったのかなと思っています。この審議会では、公募市民の委員の方々からも本当に率直な熱いメッセージやご質問を色々頂いて、それも十分に反映していただいて、このような成果になったといえると思います。こういった意見がパブリックコメントでこれだけ出ているということは、やはり非常に市民の皆さまがこの計画に対して期待を持っているし、注目もされているということでございますので、ぜひこの計画を基に今後スタートした後、しっかりと政策を実行して頂きたいと思ひますし、それからこれだけ市民の

皆さんから注目されていますので、ぜひ進捗状況を適宜的確な方法で市民の皆さん、ステークホルダーの皆さんに開示して頂けるとよいと思います。先ほど鈴木委員もおっしゃったように、私も他の自治体にも見せてあげたいと思っております。これまでこういう計画書はなかなか市民の皆さんに届かないケースが多かったのですが、今回の計画書はちょっと見てみようというようなデザインでもありますし、ぜひ計画を推進される中で、進捗状況の公表をしっかりとさせていただきたいと思います。以上でございます。

【寺田覚会長】

ありがとうございました。

最後に、委員の皆様には、慎重かつ活発にご審議いただき、計画を無事取りまとめることができました。ありがとうございました。400件のパブリックコメントを読むのは大変だったと思いますけれども、ありがとうございました。市においては、目指す都市像の実現に向けて、新たな総合計画の基で努力していただきたいと思います。

それでは以上で本日の議事は終了いたします。事務局にお返しします。

4 答申

(寺田覚会長から市長へ答申書を交付)

【市長】

ただいま寺田会長から答申を確かに頂戴いたしました。

総合計画審議会委員の皆様におかれましては、令和4年6月に諮問をさせていただきましてから本日まで2年間にわたり、大変活発なご審議を賜りまして、皆様それぞれがお持ちのご見識、ご経験から貴重なご意見、提言を頂きまして、本日第9次安城市総合計画案を取りまとめることができました。誠にありがとうございました。

これからの安城市は、この第9次総合計画を基に、子どもを核としたまちづくりを力強く推進してまいりたいと存じます。子どもを生み育てることに対して、今の若い世代の方々は不安、懸念を抱いていることと思います。子どもを生み育てることについて、若い世代の方、子育て世帯の方だけに負担がかかってしまっていると思います。これを社会全体で支えて、負担を少しずつ皆さんで分かち合う、そんな社会になっていくべきだと私は思っております。子どもを生み、子どもを育む、その負担を地域社会、社会全体で共有することによって、子どもを生み育てることを社会全体の喜びとしていきたい。そうすることによって地域に育まれて健やかに成長した子どもたち、今度はこの子どもたちが、私たちの未来のまちというもの作り上げて行くことになろうかと思っています。このようにして、現在から未来に渡ってすべての方々の幸せをかなえることへとつながっていくものと私は確信しております。

今回の第9次総合計画に込めました私の想い、目指す都市像の実現に向けまして、これからは計画の策定という仕事から、計画を実現するために実施をしていくという、一つ階段を上ることになります。

総合計画、これに先行して昨年ご審議いただいた3年間の実施計画に掲載された取組の一つ一つ、これに対して全力を注いでまいりたいと存じます。そして、その取組の成果につきましては、総合計画の各成果指標の進捗状況を皆様にご報告するという形で、総合計画審議会の場でお示しをさせていただく予定をしております。委員の皆様におかれましてはどうか引き続き、ご指導、ご助言を賜りますよう、よろし

くお願いいたします。

結びに当たりまして、第9次安城市総合計画の策定に多大なるご協力を頂きました委員の皆様方に対しまして、重ねて御礼を申し上げます。私からの御礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。

5 その他

【事務局】

続きまして、次第5「その他」につきまして、事務局より連絡事項を申し上げます。

(事務局説明)

【事務局】

以上をもちまして、令和5年度第4回安城市総合計画審議会を終了いたします。
委員の皆様、1年間、誠にありがとうございました。